

2015 県議選の構図

< 4 >

自民現職が再選目指す 新人2人が一騎打ちへ

直方市

現職と新人2人の三つどもえの戦いだった前回から一転、立候補を表明しているのは現職の1人だけだ。再選を目指す自民現職の香原勝司は既に約1500の団体や企業から推薦を受け、8日には後援会事務所開きも終えた。今回は県政連の推薦も取り付け、ミニ集会などで雇用、子育て環境の充実などを訴え支持基盤固めを図っている。

田川市

3期務めた自民現職の浦田憲一が今限りで引退し、自民新人と無所属新人の一騎打ちになる見通し。浦田の次男で自民新人の浦田大治は保守層を固めるため、企業や団体などを中心にあいさつ回りを続けている。1月末に田川市議を任期中中で辞職した無所属新人の佐々木允は民主、社民の推薦を受け、保守層への浸透も図る。

自民系3人 社民も参入

田川郡

現職2、新人2の計4人が2議席を争う構図になりそうだ。いずれも前回初当選した自民現職の大島道人と、自民推薦で無所属現職の神崎聡は、県議での実績をアピールして支持固めに力を入

れる。自民の地域支部から推薦を受けた無所属新人の有田浩二は、地盤の川崎町を中心に知名度アップを図る。

自民が分裂 現新激突へ

宮若市・鞍手郡

地元選出衆院議員の武田良太が大島と有田を推す一方、副総理の麻生太郎は神崎を支援し、自民分裂の様相となっている。前回、1947年から続

定数1に対し自民現職の塩川秀敏と、無所属新人の春田章匡が立候補を予定。春田は自民の地域支部から推薦を受けており、事実上の自民分裂選挙となる見通しだ。

前回と同じ 現新の争い

嘉麻市

3選を目指す塩川は支持者回りを重ね、2期8年の実績をアピール。街頭で朝立ちを続け、無党派層の取り込みも図る。春田は、副総理の麻生太郎の秘書時代に培った人脈を生かして企業などへのあいさつ回りを進め、ミニ集会も精力的にこなす。

8選を目指す自民現職の吉原太郎と、無所属新人で会社社長の井上誠二が立候補を表明。前回と同じ顔ぶれによる一騎打ちの公算が大きい。吉原は支持固めに向けて地域ごとに後援会が活動を本格化。井上は地元の稲築地区から世代交代を訴えて浸透を図る。

現職2人と 2新人対決

飯塚市・嘉穂郡

定数2に現職2人、新人2人が立候補を表明。4選を目指す自民現職の江藤秀之はミニ集会や企業団体への推薦依頼に力を注ぐ。5



直方市 (定数1)	自現
香原 勝司47	市体育協会会長
当12,397	自新
10,104	無現
2,681	無新
野下 直行	

田川市 (定数1)	自新
浦田 大治40	県議事務所員
佐々木 允33	福祉施設職員
当11,182	自現
10,753	無新
浦田 憲一	
古賀 靖典	

田川郡 (定数2)	自現
大島 道人62	農業
神崎 聡52	県農政連役員
藤中 寛之40	党県副代表
有田 浩二55	建設会社役員
当14,814	自新
13,519	無新
10,459	無新
大島 道人	
神崎 聡	
富原 茂昭	

宮若市・鞍手郡 (定数1)	自現
塩川 秀敏66	元高校教諭
春田 章匡59	元議員秘書
当14,654	自現
7,030	無新
塩川 秀敏	
豊福 明子	

飯塚市・嘉穂郡 (定数2)	自現
江藤 秀之54	党県役員
吉村 敏男66	党県代表代行
小幡 俊之57	元飯塚市議
高橋 義彦31	元証券会社員
当25,922	自現
18,523	民現
4,690	無新
江藤 秀之	
吉村 敏男	
藤田 康文	

嘉麻市 (定数1)	自現
吉原 太郎80	医師
井上 誠二56	不動産業
当11,531	自現
5,684	無新
吉原 太郎	
井上 誠二	

▽党派の略称 自||自 民党、民||民主党、維|| 維新の党、公||公明党、 共||共産党、社||社民党、 農||県農政連、無||無所 属。前回結果は2011 年の県議選。「み」は解 党したみんなの党。

(敬称略)